



遠藤幸子議員

### 通学路の再点検を

### 安全マップを作成中

**問** 「民家もない、人通りも少なく防犯ベルを持っていても役に立たない」「子ども達は、不安を感じながら通学している」。

大山小校区には、こんな通学路が何力所がある。再度点検が必要ではないか。

また、スクールバスの活用はできないか。

路線バス利用の児童の中には、始業一時間前に登校する子ども達もいる。対応はどのように考えているか。

**答** (山田教育長)

子ども達が不安を感じる通学路には、再点検が必要であると考えている。

#### 不安がいっぱいの通学路

教育委員会では、学校教育課・社会教育課と合同で、安全確保をどのよう

にか協議検討中である。子ども達・保護者・教師と一緒に通学路を歩いて、危険箇所をチェックし、「安全マップ」を作成している学校もある。

マップをもとに、危険回避を身につける指導も行っている。スクールバスは、18年度から8台運用する。小・中学校の登校時間は同じでも、下校時間が違うため、スクールバスの運用から、設置の仕方に工夫が必要であり、有効に活用したいと考えている。

路線バスの待合い時間は、個々のケースを十分に掌握し、もれのないようにしたい。

現在、大山小校区の保護者と、意見交換をしている。何らかの方策は、必要だとの意識は持っている。



沢田正己議員

### 大山口駅の差別落書き

### 許せない事件

されたような気がする。

さっそく、部落代表と解放同盟の方から要請書が議会に提出され議会運営委員会が開かれた。その後、全員協議会で本人が謝った。

昭和40年の同和对策答申以来、40年がたっても差別落書きがある現実の厳しさ。

部落問題をてこにして、あらゆる差別をなくする運動がなされたが、部落差別はなくなっていない。今後の同和问题解決の取り組みについて町長・教育長はどのように考えているのか。

**答** (山口町長)

JR大山口駅のトイレ差別落書きは到底許すことのできない差別事件である。同和问题の解決を目指して取り組んできた行政としても見過すことのできない、誠にざんき



差別落書きがあった大山口駅トイレ

に耐えない事件である。再び起こしてはならない問題であると強く思っている。

本町は、「大山町人権尊重の社会づくり条例」を制定している。町の責務として人権尊重の社会づくり積極的に努力していく。

**答** (山田教育長)

教育委員会では、意識改革をすることに重点を置いていく。学校教育課と社会教育課の二つの課で今回の差別事件を踏まえ、一層教育実践を充実させたい。

